

中国本土における「ゴジラ」IP ライセンス事業推進に向けて、 上海新創華文化発展有限公司（SCLA）と戦略的パートナーシップを締結

東宝株式会社（本社：東京都千代田区、以下「東宝」）は、知的財産（IP）・映像作品のライセンス及び商品化事業を中心にグローバル戦略の新たな展開として、中国本土における「ゴジラ」シリーズのライセンス事業・ブランディングの推進に向けて、上海新創華文化発展有限公司（本社：中国・上海市静安区、以下「SCLA」）と戦略的パートナーシップを締結したことをお知らせいたします。



左：SCLA 会社外観



TM & © TOHO CO., LTD.

右：「ゴジラ」ブランドロゴ（中国語版）

今回の提携により、SCLA は中国本土市場において「ゴジラ」シリーズのキャラクター認知拡大、商品化、展示イベント、マーケティングキャンペーンなど、幅広いライセンス関連事業を担います。

「ゴジラ」は、1954年の誕生以来、東宝を代表する世界的 IP の一つです。2024年に70周年を迎え、東宝グループはその節目に合わせ、「TOHO Global」を通じ、アジア戦略拠点である「TOHO Entertainment Asia Pte. Ltd.（シンガポール、以下「TEA」）」を設立し、アジア各国市場のトレンドやニーズを的確に捉え、地域に根差した事業展開の強化ときめ細やかな対応と戦略的な IP 展開を推進しています。今回の SCLA との提携は、東宝の「IP グローバル展開」と「地域別戦略強化」を、中国本土を重要拠点としてさらに深化させる重要な一歩です。

この取り組みは、東宝が掲げる中期経営戦略「TOHO VISION 2032 東宝グループ経営戦略」の一環であり、「企画&IP」「海外」「アニメーション」の3つを成長戦略の柱とする方針のもと、世界市場での IP 価値向上と持続的な成長を目指しています。

今後、TEA は、東宝と SCLA 間の戦略連携のハブとして、IP の中国本土市場におけるローカライズと円滑な事業推進を担います。また「ゴジラ」IP の長期的な中国展開を見据え、アジアを起点としたこの取り組みを通じて、「ゴジラ」が持つ無限の可能性をさらに引き出し、中国本土のファンへ東宝のエンタテインメントを力強く届けてまいります。

■ TOHO Global 代表取締役社長の植田浩史より：

中国本土市場における「ゴジラ」の認知度や人気、さらにはハリウッド版「ゴジラ」映画の興行成績を見るに、「ゴジラ」IP のビジネス拡大ポテンシャルには大きな可能性があると感じております。一方で、中国本土市場特有の特性を考慮すると、現地で確固たる基盤を持つ有力パートナーとの協力が不可欠です。この度、SCLA という極めて強力なパートナーと共に中国本土市場での更なる拡大を進められることを、大変喜ばしく思っております。

SCLA の持つ豊富な実績と IP 展開における幅広い機能は既に高く評価しておりますが、これらの強みを最大限に活用し、「ゴジラ」IP のビジネス拡大を加速させてまいります。この戦略的パートナーシップを通じて、中国本土の皆様へ「ゴジラ」の魅力をより一層お届けできることを楽しみにしております。

■ 上海新創華文化發展有限公司 (SCLA) CEO の孙劍 (Sun Jian) 氏より:

東宝は映画制作・配給の分野において、日本市場はもちろん、世界の映画業界全体においても非常に重要な地位と影響力を持っています。

東宝の特撮映画「ゴジラ」シリーズは、すでに70年以上の歴史を誇り、「ゴジラ」は日本の特撮映画の先駆けであり、日本の特撮文化全体を牽引してきました。その独自の美学と物語の表現手法は、ハリウッド映画やアニメーション作品を含む世界中の映像制作に大きな影響を与えています。

SCLA は、日本の有名な IP を多数独占代理し、中国本土で20年以上にわたりアニメ・キャラクターライセンス市場に深く関わってきました。その中でも、日本の特撮 IP は特に重要な位置づけであり、私たちはこの分野で豊富な運営・管理の実績を積み上げてきました。

今回、日本を代表する伝説的な IP である「ゴジラ」の中国本土のパートナーとして共に取り組めることを大変光栄に思います。また、東宝からの信頼に心より感謝申し上げます。

この協業は単なるビジネスにとどまらず、日中両国の文化産業交流における新たな象徴となると確信しています。

SCLA は、東宝と手を取り合い、中国本土市場における「ゴジラ」IP の新たな歴史を共に築き上げ、「ゴジラ」の魅力を多くのファンへ届けていきたいと考えています。

■ 「ゴジラ」について

我々の前に姿を現して以来、その名を世界に轟かせている怪獣王。1954年に公開されたシリーズ第1作目は観客動員数961万人という空前の大ヒットを記録。以来、日本国内だけで30本以上の映画が製作され、シリーズ累計の観客動員数は1億人を突破。現在に至るまで、世代や性別を超えて、幅広い人気と圧倒的な知名度を誇る。作品のテーマに各時代の世相を反映させながら、その時代を生きる人々を魅了してきた。

本件に関するお問い合わせ先
TOHO Entertainment Asia Pte. Ltd.
Managing Director 村山ファビオ
Email : hello@tohoea.com.sg